

# ヴェリタス学習会通信 89

予定表カレンダー →



## 令和6年8月の予定

- ・月曜日 8月5・12・19・26日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
  - ・水曜日 8月7・14・21・28日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
  - ・木曜日 8月1・8・15・22・29日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
  - ・金曜日 8月9・16・23・30日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
- 2日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00



藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

2日(金)は、施設予約をしなかったため、**ヴェリタス事務局**で行います。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

12日(月)は「山の日」ですが、施設を予約しました。参加されない方も多と思うので、濃い支援ができると思います。14日(水)～16日(金)も通常通り開会しますので、遠慮せずにお越しください。誰も来なくても、別にやることはあるので、無理に来てもらう必要はありません。

大雨やその他の警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

## 連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



## Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がるZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

## 話し合いをすることの意味



話し合いや会議は、自分の意見を聞いている人に納得してもらったり、説得して自分の思い通りに物事を決めたりするためにやると思っている人が多いのではないのでしょうか。私自身を含め、そのように考えていると思われる発言を、会議で何度か聞いてきました。

時々テレビにも出ている鴻上尚史さんという作家・演出家の方は、相手と気持ちや意見を交換するコミュニケーションについて意見を述べています。『コミュニケーションのレッスン』という単行本も出されていますが、小学校の国語の教科書を発行している光村図書のホームページに、学校や教室の生活で生かせそうな文章がコンパクトに載っています。

今回は、話し合いの目的について書いてある部分について紹介し、私の考えも述べたいと思います。

## 私とあなたは違う

教室や会社で話し合いや会議をするとき、日本人は「みんなが一つになる」ということを目的にしがちだと彼は指摘しています。しかし彼は、「大事なのは、『私とあなたはどれくらい違うか』を明確にすること」と述べています。



相手の意見を聞く中で、「この部分は一緒だけれど、この部分は自分の考えと違う」ということをはっきりさせることが第一歩。そして意見の違う部分について、どうやったら自分も相手も他の人も、無理をせず一緒に行動できるか考えます。どうしても譲れなければ、その部分については参加しない。

「いちばんよくないのは、なんとなく曖昧に一致している。みんな従っているという状態。そこにはコミュニケーションは存在しません」と彼は書いています。

会社などでは、経験や実績の違い、上下関係などで、どうしても会議の決定に従わなければならないことはあります。それは仕方のないことです。しかし、教室での話し合いは、先生を除き、皆同じ学年の子です。違う意見を持つ者同士が、どこまで一緒にやれるかを考えればよいと思います。

## 「反対の人がいるならやめる」とは言わない

彼の文章には「『多数決がそのクラスの意思』という考え方、『反対の人がいるならやめる』という捨てぜりふはやめましようと言いたい」ともあります。

国会や自治体の議会には興味がない子も多いと思います。それらの議会では、最後は多数決で決めることが多いのですが、多くの決め事で、少数意見を聞く時間を十分設けたり、ときにはその意見を一部取り入れたりして、強引な進め方を避けることがあります。



少数意見もよく聞いて、その意見も尊重しながら物事を進めていってもらいたいと思います。反対の人がいる方が自然なのですが、その反対の人も行動してみると、「案外良かった」と感想を述べる人もいます。

多くの人と一緒にやろうとすれば、どうしても考え方の違いは生まれます。その違いをどう考えて同じことをやっていくか、そのときに出る皆さんの工夫や努力を期待しています。くれぐれも「みんなの意見に従え」と圧力をかけることはやめてください。

まずは話し合いで、「他の人の意見と自分の意見はどう違うのか?」、それを踏まえて、「自分には何ができて何ができないか」を考えることから始めてみてください。